

11 がつひかりごう

令和 4 年 11 月 1 日 輝 保育園

昼夜の寒暖差も徐々に大きくなり、秋の深まりを感じます。3、4、5 才児は、2 年ぶりにお家の方に運動会で成長を披露することが出来ました。子ども達の大きな自信につながったと思います。来年は、全園児で運動会を開催できる事を願っています。先日、すみれ組さんがお散歩に出かけ、元気に帰ってきました。「先生ー！見てみて！どんぐり〜！」と、ビニール袋に入ったどんぐりを高く持ち上げ満面の笑みです。これから散歩や遠足に出かけ、自然に興味を持つきっかけになってほしいです。



【【 いい歯の日 】】

11 月 8 日は「いい歯の日」です。

80 才になっても自分の健康な歯を 20 本以上保つことを目標にしています。

歯を磨くのに欠かせない歯磨き粉。

粉じゃないのに歯磨き粉という名前が不思議です。

歯磨き粉が販売されたのは 1643 年江戸時代のころです。

貝殻の粉末や塩を混ぜ合わせた粉末の物でした。

こうして歯磨き粉は誕生したのです。

昔の人々の発想を大切に、自分の歯を大切にしましょう。



= 11 月の行事予定 =

- 4 日 (金) 避難訓練
- 8 日 (火) 遠足 (3、4、5 才)
- 15 日 (火) } 尿検査提出日
- 16 日 (水) }
- 18 日 (金) ソフトバンク野球教室 (5 才児が参加します。)
- 25 日 (金) お誕生会・身体測定

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

生活習慣は育ちの基礎

基本的な生活習慣と呼ばれる食事、排泄、睡眠、清潔、着脱衣、お手伝い、あいさつといった習慣が年齢相応にきちんと身に付いているということは、子どもの心と体の健やかな育ちにとってとても大切なことです。

現代の子どもの深刻な問題として指摘されている「学意欲」、「自尊感情」、「規範意識」、「体力等」の低下の一因に基本的な生活習慣の乱れがあると考えられています。

1. 望ましい「生活習慣」は「自尊感情」を高める方法の一つです！

例えば、生活習慣と自尊感情の関係を考えてみましょう。

自尊感情とは「自分自身を基本的に価値あるものとする感覚」のことです。

自分に自信をもち、自己を肯定的に捉えることができるということは、子どもが意欲的に生活し、自分の可能性を伸ばしていくうえでとても大切なことです。



「教育力向上福岡県民運動 ホームページ」より抜粋

=== ナース・レポート ===

【コロナ・インフル両ワクチン 早期接種 検討を !!】

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が指摘されるこの冬、医療関係者が小児救急のさらなる逼迫を懸念している。

コロナが単独で流行した今夏に「災害時並み」の医療現場を経験したためだ。

24 日から始まる生後 6 カ月から 4 才のコロナワクチンも念頭に「インフルエンザワクチンとともに早期接種の検討を」と訴える。

10/24 静岡新聞より抜粋

インフルエンザは例年、冬季に流行が見られますが、過去 2 年は感染対策が徹底され流行はしていません。

水際対策も緩和され、海外からの観光客が増えるなか、流行は必至とみられています。

新型コロナウイルスは変異を繰り返し、性質を変え、高熱やのどの痛みを訴え、インフルエンザと見分けがつきにくいとされています。

熱発、咳嗽などの風邪症状がある際は、きちんと医師の診断を仰ぎましょう。

新型コロナウイルス感染症もインフルエンザもワクチンは重症化を防ぐ効果があります。

早めにワクチン接種をうけ、引き続き感染対策を徹底していきましょう。

こどもよす

たんぽぽぐみ
0 才児



窓越しに戸外遊びをしている他クラスの様子を見ていて、戸外への関心が大きくなり「行ってみたい」と声を上げたり、指差したりと興味を抱く様子が窺えました。お天気のいい日、靴を履いて保育室からたんぽぽ園庭に出掛けました。大窓を開けると一斉に外へ一歩踏み出します。靴を履く事を嫌がったり戸惑う様子もなく、遊具や落ちていた葉っぱに興味を持ち、靴を履くとそれぞれ興味を引く場所に行きます。滑り台を繰り返している子や、落ちていた葉っぱや、だんご虫に興味津々な子など、色々な表情や行動が見られました。楽しい戸外遊びですが危ない事もたくさんあります。遊びの中で体の使い方、遊具の使い方を学び、身体能力、危険察知、回避能力を育めるような経験を重ね、また自然に触れることで感性を豊かに出来るように戸外遊びを展開していきます。

たんぽぽぐみ
1 才児



少し前からメルちゃん人形でよく遊んでいます。低月齢の子は服を脱がせるのが楽しくてたくさんいるメルちゃんの服をどんどん脱がせていきます。脱がせるのはとても上手です。しかし、着せてあげることは難しいので裸のメルちゃんばかりになってしまう 1 才児の部屋です。高月齢の子達は、おしゃべりも上手になり、話しかけながらお世話をしています。「おっしこ出ましたか？」「ふきふきしましうね」、「はい！大丈夫」と、どんどん言葉が出てきます。オムツ交換の時、自分がかけてもらっている言葉をメルちゃんにも優しく声かけています。お布団に寝かせ、上から掛け布団を掛けるのもとても上手になりました。子ども同士でもやり取りも少しずつ見られるようになりました。一緒に遊ぶ楽しさを感じられるよう、保育者も一緒に過ごしています。

すみれぐみ
2 才児



10 月は公園や池のほうへ、散歩に出かけました。たくさんのどんぐりが落ちていたのを見つけ、どんぐり拾いが始まりました。そんな中、どんぐりをなくしてしまった子がいて、「どんぐりが無い」と悲しそうにしていると、「あげようか？」と自分の持っていたどんぐりを一つ渡してくれました。なくしてしまった子も、表情が明るくなり、「ありがとう」と嬉しそうでした。そんなやりとりが、保育士が仲立ちとならなくても見られるようになってきました。まだまだぶつかり合うことも多くありますが、様々な経験を通し、友だちとの関わりがより楽しいものとなるよう見守っています。昼夜の寒暖差も大きくなり、服装の調節が難しい季節です。11 月も、天気のいい日は、戸外活動を楽しみます。天気や気温に合わせて、服装も調節できるよう、準備をお願いします。

ちゅうりっぷぐみ
3 才児



日頃から「元気いっぱい、笑顔いっぱい」のちゅうりっぷ組さん。子どもらしさ溢れる素敵な姿である反面、時に、気持ちの高ぶりやすさから「遊ぶ時間」、「頑張る時間」のメリハリがつかない姿が課題でした。運動会に関する活動においても上記両方の姿が見られていましたが、10 月中旬頃から「運動会の練習する？」と楽しみにするようになり、活動後の「楽しかった！」との言葉が増え始めると、その感情と比例するように、保育士の目を見て話を聞いたり「はい！」と返事をしてくれたり、子ども達の言動にもメリハリがつかってきました。子ども達の成長と同時に、クラスとしての成長も感じた嬉しい変化でした。「みんなと一緒に楽しいね」をモットーに、そして「頑張ろう！」と取り組んだ運動会。温かい応援を頂き、ありがとうございました。

ばらぐみ
4 才児



先月は運動会やその練習を通して、仲間と協力してやり遂げる喜びを感じられました。ダンスの練習中には、「こうしたらいんじゃない？」など、よりよくするために自分の考えを言葉にしたり、それを聞いて認めあったりする姿がありました。自分たちで決めた、考えた、ということが子どもたちの自信にもつながったようです。最近は過ごしやすいく候になり、戸外遊びで十分に体を動かすことができるようになりました。ばら組の子どもたちは、友達を誘い合って、自分たちでルールのある遊びを展開し楽しんでます。遊びの最中は何度も友達と名前を呼び合い一緒に笑っていて、その姿から友達と遊ぶことを心から楽しんでいることが伝わってきます。まだまだ友達とのトラブルも少なくありませんが、相手の気持ちに気付こうとする心が育つよう関わっていきます。

ひまわりぐみ
5 才児



運動会に向け、きつくても難しくても挑戦すること、みんなで協力することを経験したことで心が成長し、友だちとの関係を深めつつある子ども達は、遊びの中でよく話し合いをして遊んでいます。コオロギ、バッタ、カマキリなどの虫取りが盛んで、虫を捕まえると草をたくさん集めた部屋を作ってあげ、水を少し入れたりして、名前まで付けて可愛がります。虫が自分達の集めた草を食べるのを楽しみと驚きを共有しています。その反面、自分の思いを強い口調、よくない言葉を使って話をしてトラブルになり、保育者の仲介が必要な時があります。どんな話し方がよいか、使ってよい言葉と一緒に考え、落ち着いて伝えたいことを伝えるようにしています。また、これから寒くなりますが、厚着するのではなく戸外でたくさん体を動かして体を温め、薄着で過ごしていきます。